



# しらさぎ

2025年(令和7年)1月24日

逗子市立小坪小学校

校長 池上 慎吾

小坪小だより NO. 12

## 新年明けましておめでとうございます



旧年中は保護者の方、地域の方には大変お世話になりました。本年も皆様のご支援のもと、私たち教職員一同、児童の健やかな成長のため、また将来、地域・社会に貢献できる児童の育成を目指し、全力で頑張る所存であります。本年もどうぞよろしくお願いいたします。右の写真の生け花は本校、山口明先生の作品です。暫く玄関に展示しておりますので是非ご覧ください。



## 「小坪小学校地区避難所運営訓練」を行いました



今月1日で能登半島地震から1年が経ちましたが、未だ避難所生活を続けている方も多いと報道で聴きました。本当に一日も早い復興を心から願うばかりです。

さて、災害はいつ・どこで起こるか分かりません。「いざ」と言う時に備え、小坪小学校地区でも12月8日(日)の午前中に避難所運営訓練を実施しました。各地区代表の方や地域の方、本校PTA、職員も含め大勢の参加

がありました。訓練では、防災倉庫の開錠方法、避難場所の確認、体育館でのパーティション設置、発電機稼働訓練、マンホールトイレの組み立て設置、MCA無線の使い方等、災害発生から24時間以内にやらねばならない初動期の体制づくりを実践を通して一通り行いました。参加者された方々は皆真剣に訓練に取り組んでいました。当日は、早朝から準備をされ、また訓練の進行を担ってくださった、梶原委員長をはじめとする避難所運営委員の皆様、逗子市防災課の職員の方々、そして逗子消防の方々、大変お疲れ様でした。



## <学校評価アンケート(後期)のお願い>

後期も学校評価アンケート(保護者版)を実施させていただきたいと思っております。お忙しい中、お手数をおかけいたしますが、アンケートの回答にご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。前期のアンケートでは回収率が50%以下と大変低かったため、後期は是非多くの方にご協力いただきますよう重ねてお願い申し上げます。

今回も、Googleフォームを活用してアンケートにお答えいただきたいと思います。学年ごとに配信いたしますので、お子さんお一人につき一回のアンケートにご回答ください。お子さんが複数いらっしゃるご家庭には、ご負担をおかけし申し訳ございませんが、ご理解の程、よろしくお願いいたします。

なお、このアンケートの集計・分析したものは、後日「小坪小だより」にてお知らせするとともに、今後の教育活動に生かしていきたいと思っております。締め切りは2月3日(月)です。

## 市内一周駅伝競走大会「小坪A」優勝！

今年も新春恒例の市内一周駅伝競走大会が1月12日に開催され、地域対抗の部で「小坪A」チームが見事優勝しました。選手の中には小坪小OB・OGの方も多くエントリーしており、特に小坪Aで5区を走った本校を2014年度に卒業された安澤駿空さん（元6年1組、担任は棟方先生）は、今年の箱根駅伝に出場しており、優勝に大きく貢献しました。もちろん「小坪A」だけでなく、どのチームのメンバーも全員が全力で走る姿に感動しました。



## 無病息災・家内安全を願い今年も「どんど焼き」を行いました



1月11日（土）に本校校庭で「どんど焼き」実施しました。今年もPTAや親児の会の方々、地域の方が中心となって行いました。どんど焼きは、主に門松やしめ縄、破魔矢などを燃やし、一年の五穀豊穡や無病息災、家内安全を願って全国各地で行われています。この日は大勢子どもたちも参加し、サツマイモやお餅、マシュマロなども一緒に焼いて、みんなでおいしくいただきました。特にPTAで栽培したサツマイモは味噌汁とともにいただきましたが絶品でした。

## PTAワークショップ「しめ縄づくり」



お正月飾りのしめ縄作りのワークショップが12月4日にPTA主催で行われました。講師は、伊豆の国市内で「まこも」を育てながら「循環（生態環境を守る活動）」を目指し取り組んでいらっしゃる光石綾美さんです。全国各地で見かけるのは稲刈りが終わった藁をつかっているしめ縄ですが、今回は講師の先生が育てた「まこも」を使って作りました。参加者は趣向を凝らしながらオリジナルのしめ縄が出来上がりました。



## 「性」についての授業～助産師の高野さんをお迎えして～



12月10日と11日の両日、PTAのご尽力で、助産師の傍ら全国の小中学校で精力的に性教育を行っている高野しのぶさんをお招きし、1～6年生までの児童全員と、教職員及び保護者向けに「性」についての授業をしていただきました。1年生の授業では、「気持ち」と「からだ」についてのお話でした。「気持ち」については嫌な気持ちになる「ちくちく言葉」と嬉しい気持ちになる「ふわふわ言葉」について、実際に子どもたちに質問しながらお話されました。その後「からだ」についてのお話では、プライベートゾーンの大切さについて、また赤ちゃんの誕生の様子について模型を使って大変わかりやすく説明してくださいました。特に1年生では「自分の気持ちは自分で守る」「自分のからだも自分で守る」ということを身につけて欲しいとおっしゃられていました。

## 校庭の砂入れを行いました

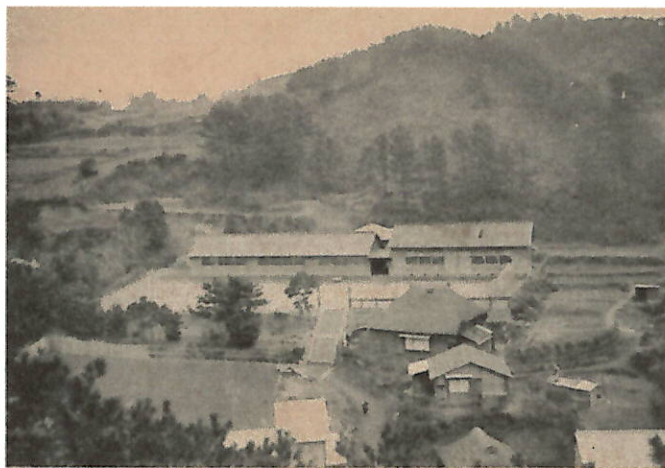


本校は浜風の影響を受けやすく、校庭の砂が短期間で飛ばされてしまいます。そこで、PTAや親児の会、アメリカ軍のボランティアの方々に年に2回程、側溝の砂出し作業を行っていただいておりますが、今回、1月7日には足りなくなった校庭の砂を補充し、均す作業を体育協会の方々と本校職員で行いました。翌日、冬休みが明けて登校してきた子どもたちは、新しい砂が敷き詰められた校庭で元気よく遊んでいました。

### 小坪小学校歴史探訪⑨ 関東大震災 ～小坪小学校の校舎倒壊する～

1923年（大正12年）9月1日の午前11時58分、マグニチュード7.9の大地震が関東地方を襲い、死者・行方不明者は11万5000人にのぼりました。逗子市内での死者・行方不明者は57人で、その内小坪地区では、津波の襲来による犠牲者も多く、死者18名、行方不明者2名、負傷者は数十名であったと記録されています。市内の学校も大きな被害を受け、逗子小学校では校舎が倒壊し、教員1名が亡くなっています。

では、小坪小学校の被害の様子はどうだったのでしょうか。右の写真は関東大震災前の小坪小学校の校舎の写真です。



この頃はまだ木造校舎で、山側（披露山側）に建っていました。よく見ると、校舎は2棟あり、真ん中の廊下で繋がっていたようです。向かって右側の屋根の高い棟は大正11年4月17日に落成された新しい校舎で、向かって左側の屋根の低い校舎は大正11年以前に建てられた旧校舎です。小坪小学校の「沿革誌」によると、地震のあった日は、2学期の始業式で、校長の話の後、児童は全員午前10時30分に下校しました。その後11時58分に発生した地震によって旧校舎は全て倒壊しました。地震発生時、職員は職員室で仕事をしており、この職員室は倒壊した旧校舎にありました。幸い下敷きとなった職員も全員無事に校庭へ避難することができたそうです。しかし、その直後倒壊した旧校舎にあった使丁室（現業務員室）から白煙が上がりましたが、すぐに消し止め、火災には至らなかったそうです。ちなみに、新校舎は半壊で済み、震災後暫くは負傷者の救護所として使われました。

授業の再開は震災一カ月後の10月1日からで、1～3年生の3クラスは校庭で午前8時30分から3時間授業をしました。校庭での授業（いわゆる青空学級）でしたので、当然雨の日はお休みでその代わりに日曜日に授業を行いました。4年生と5年生は飯島にあるお偉いさん（軍の将校だと言われています）の別荘を借りて授業を行いました。また、6年生は海前寺の本堂で午前8時30分から4時間授業を行いました（津波は標高13mの海前寺のすぐ下まで来たようです）。校舎が再建（バラック建て）されたのは、同年12月13日で、2カ月ぶりに1～6年生までが一つの校舎で学べるようになりました。

【参考：「沿革誌 第1号」逗子市立小坪小学校】



### おしらせ

昨年度、児童の出席日数等の状況を3月に「個票」にて配布いたしましたが、今年度より個票の配布を行わないことにいたしました。これは、文部科学省からも示されていますように現在は、

学びの場が学校以外の施設でも広がってきており、教育研究相談センター等の公的機関で相談を受けたり、学習支援のための教室に通級したり、また民間の相談・指導施設に通っていたりする児童が多くなってきています。このような場合、条件によっては出席扱いとなるケースもあります。すなわち、学びの場の多様化により、「出席」の定義が広がったことと、各施設によっては出欠報告が学校に遅れて届いたり、自宅で学習した日数の把握が正しくできなかつたりするなど、正確な集計が困難になってきたためです。保護者の皆様におかれましてはどうかご理解いただきますようお願い申し上げます。

